

環境調査結果のお知らせ

平成31年2月22日10時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は14.6～16.0℃で、前回調査時(H31.1.25)と比較して全層で0.6～2.1℃上昇しました。

塩分は29.4～32.0で、前回調査時と比較して表層及び底層で0.2～0.8下降し、2m層で0.4上昇しました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は7.6～8.8mg/lで、前回調査時と比較して全層で0.7～1.8mg/l増加しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.0mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で12,000cells/ml確認されました。

浦戸港一面に本種による赤潮が確認されました。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H31.1.25)	
			差(今回-前回)
0m	14.6	12.9	1.7
1m	15.1	13.2	1.9
2m	15.7	13.6	2.1
B-1	16.0	15.4	0.6

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H31.1.25)	
			差(今回-前回)
0m	29.4	30.2	▲ 0.8
1m	30.4	30.4	0.0
2m	31.5	31.1	0.4
B-1	32.0	32.2	▲ 0.2

表3 溶存酸素量(mg/l)

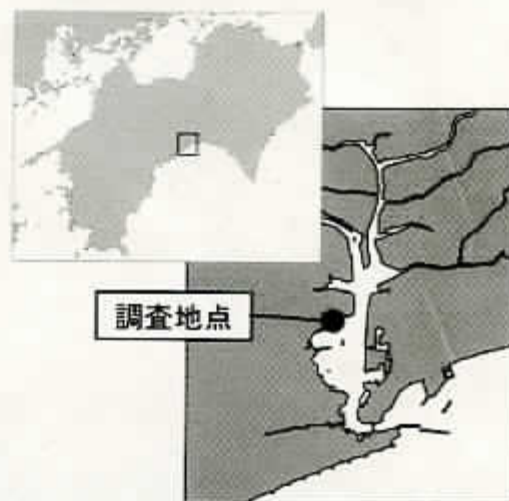
測定水深(m)	今回調査	前回調査(H31.1.25)	
			差(今回-前回)
0m	8.8	8.1	0.7
1m	8.5	7.3	1.2
2m	7.9	7.1	0.8
B-1	7.6	5.8	1.8

表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.9	3.9
透明度	2.0	3.5

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	プロセントラム・トリエステナム	アカシオ・サングイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	8,000	0	0	0	15
1	12,000	0	0	0	10
2	4,000	0	0	0	0



漁業被害が想定される細胞密度
 ・ヘテロシグマ・アカシオ:
 10,000～50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>